

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もぜ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園クラスがあり、親子共に必要な支援を行うことができる。 丁寧に段階を踏んだ上で、母子分離へ移行することができる。	親子で通園する中で発達についての話をしたり、親子の関わりについて一緒に考えたりしている。療育後はもちろん、療育中でも必要に応じてお子様への関わり方を助言している。	親子で通うメリットを活かしご家族共に安心して通園出来る環境を整えていく。
2	基本的な生活を毎日繰り返すことで生活スキル(排泄、昼食、お昼寝、おやつなど)を学ぶことができる。	就園を見据えた支援を行い、日々の生活リズムを確立できるよう基本の流れを崩さない様に配慮している。	全体的な生活リズムを確立するとともに、必要な部分は専門職との連携を図り、運動機能の向上、情緒の安定を図れるようにしていく。
3	医療的ケア児を受け入れており、医療が必要なお子様へ対して相談の上、支援を行うことができる。	受入の際の丁寧なお話を伺い、相互理解した上で受け入れている。また関係機関との連携を図っている。	家庭環境、お子様の発達の変化への細かに対応していけるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子療育時にお話できる時間を設けたり、ご家族同士の懇談会を実施しているが、より参加しやすい環境を整えていきたい。	ご家族に集まって頂く時間の設定が難しい。	ご家族同士交流できる場を増やし、それぞれの思いを伝え合ったり、コミュニケーションを図って頂くことでご家族の気持ちに楽になるような場の提供に努めていく。
2	専門職との連携。 日程調整を行った上で実施している。	専門職との日程調整を出来るだけスムーズに行えるようにしている。	お子様・ご家族のご意向を把握し、必要な専門職との連携を密にとっていく。専門職からの助言を職員間で共有し、支援に活かしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	もぎ
------	----

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 25名 (兄弟児2組)

回収数 15名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				活動スペースは基準に沿って確保されており、活動によってスペースを工夫して使用し、支援に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1				定められた職員配置で支援しております。今後も適切な支援に努めて参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2				お子様の身体の状況等把握し、適切な環境を整えて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	15					今後も日々の清掃を丁寧に行い環境整備に努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					お子様の発達について把握し、特性に応じた対応ができるようにスキルアップを目標とします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					公表した支援プログラムをもとに支援を行って参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1		1		ご家族、お子様のことをしっかりと把握できるように努め、計画に反映して参ります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					児童発達支援ガイドラインに基づき計画を作成しております。お子様一人ずつにあった支援を提供して参ります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					児童発達支援計画に沿って支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1				活動プログラムは毎月見直しを行っております。固定化されないよう工夫しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	6		現在交流の機会はありませんが、今後検討してまいります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					契約時に説明させて頂いております。不明点はいつでもお問い合わせいただければと思います。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					児童発達支援計画での説明は年2回行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1		1		家族会等で、ご家族に参加して頂ける研修の機会を設けております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				連絡帳や日々の申し送り等で共有させて頂いております。今後もご家族に伝わりやすい説明を行い相互理解に努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				定期的な面談以外にも、随時受け付けておりますので、お声掛け下さい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					ご家族に寄り添った支援ができるよう努めて参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1		2		年2回家族会の開催、懇談会実施、また親子療育時にご家族同士で話をできる時間を設けております。兄弟児の交流については現在設定できていない為、検討して参ります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	1		相談等あった際には、迅速に対応できるよう努めて参ります。いつでもお気軽にお声掛け頂ければと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14		1		丁寧な申し送り、紙面のみでなくさくら連絡網等を活用してより迅速に分かりやすくお伝えして参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		3		毎月の月間行事予定表の配布、ホームページ更新をしておりますのでご覧頂ければと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				個人情報取り扱いに関して留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1		マニュアルの作成をしております。保護者様への周知の方法を検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15				火災・地震に関しては毎月の避難訓練を行っております。その他必要な訓練も実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14		1		安全計画を作成し、支援に取り組んでおります。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1			事故等（怪我等）おきた際にはご家族へすぐに連絡を取らせて頂き、状況説明を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				今後ともお子様が安心して通園できるよう支援に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			お子様の興味を引き出し、楽しみに通って頂けるよう支援して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				お子様、ご家族ともに安心して通園され、事業所の支援にご満足いただけるよう丁寧な支援を心がけ、より一層技術の向上に努めて参ります。

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	もぜ					公表日	令和7年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			規定に沿ったスペースが確保しております。活動によってスペースを工夫して使用した上でに支援に努めて参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			定められた職員配置で支援しております。今後も適切な支援に努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じて絵カードを使用し、視覚的支援を行います。	お子様にとってより良い環境で支援できるように環境を整えて参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			日々清掃を行い清潔を保つようにしております。また部屋の中はお子様が過ごしやすい環境設定を整えるよう努めております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			お子様の状況に応じて部屋の確保を行い、安心して過ごせる場の提供を行って参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			業務改善事項を共有し、随時振り返りを行うことでさらなる改善へと繋げるようにして参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様からのご意向等は、職員全体で把握し業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議以外でも随時面談等であがった意見を反映するように心がけております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		現在外部評価を行っておりませんが、今後検討して参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の療育研究会、外部研修も随時受講しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを、ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		お子様一人ずつアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援に関わる職員の意見を踏まえた上で、計画作成を行っております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の共有を行い、計画に沿った支援を心掛けております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ご家族へ丁寧なアセスメントを行いお子様の状況を確認して参ります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラム作成は職員間で話し合って作成しております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう、内容を工夫しております。	お子様がより活動を楽しめるように、内容を工夫して参ります。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況に合わせた支援内容を検討し実施しております。お子様の情報把握に努め計画作成できるようにして参ります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		月ごとの活動リーダーを決め、必要事項は事前に確認、当日にも再確認しております。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	気付きについてはノートを活用し、職員間で共通理解できるよう努めております。	行事等は特に丁寧に振り返りを行い、次回の活動に活かされるようにして努めて参ります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援内容、気になることは連絡帳に記載することで、振り返りにも活用されております。	必要事項が漏れないように、様々な媒体を使って改善に繋げて参ります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的な見直しを継続して参ります。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を始め、直接支援に携わっている職員が出来るだけ多く参加できるようにして参ります。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		今後も研修会や連絡会等にお声掛けし、関係機関との連携を図って参ります。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園や保育園との連絡会、小学校との連絡会を実施しております。実施時期や方法等で実施出来ない場合もある為、ズームなど活用し、連携の機会をしっかりと設けられるようにして参ります。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	小学校連絡会を実施し、就学先との情報共有と図ることができるよう努めております。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		年3回児童発達支援事業所との、事業所連絡会を開催しております。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	専門職との連携を図り助言を受けることで支援に活かせるようにしております。また外部研修にも参加しております。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会のこども部会には法人代表で出席しております。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在交流は行ってないが、今後検討して参ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	お子様の状況や課題について情報共有を行っております。	送迎利用で共有の機会が少ない方へは連絡帳を中心に共有しております。ごまめに連絡を取り、共通理解に繋げて参ります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族向けの研修の機会として、講演会を実施いたしました。今後ペアレントプログラムの実施等検討して参ります。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に説明を行っております。利用者負担が必要な場合は事前に説明を行っております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	作成に当たって、ご家族のご意向をしっかりと聞き取り計画作成している。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援計画を基に説明を行い、保護者様より同意を頂いております。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご家族からの相談に関してはタイムリーな対応を心掛けております。	相談等、ご家族が話しやすい雰囲気作りを心掛けて参ります。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族会の実施、親子療育時にご家族との茶話会の時間を設けております。また懇談会を開催致しました。	兄弟児の交流の場については今後検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談へ迅速に対応し、安心して通っていただけるよう対応して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ等にて活動風景を発信しております。また法人の広報誌にも掲載されております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いには十分留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			情報伝達の為がしっかりできるよう工夫、配慮して参ります。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人としてサマーフェスタ、フリーマーケットを開催し、地域住民の皆様にご来館頂いております。	法人行事の他に、事業所としての行事を検討して参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しております。	保護者様に周知されるよう、今後発信方法等検討して参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しております。また非常災害に対する備えや訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前のアセスメントを行い確認させて頂いております。	利用していく中で変更があれば随時共有してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用前のアセスメントを行い確認させて頂いております。	栄養士との共通理解を行い、食事提供間違いがないように対応して参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員間で研修や訓練を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			ご家族へ周知できるよう丁寧に説明して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット内容は事業所内で共有しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催しております。法人全体研修時にも実施されております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいませんが、必要な場合には組織の決定に沿って実施して参ります。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちげ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 15日		～ 2025年 1月 18日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から幼稚園・保育園との連携を図っている為、幼稚園保育園については保育所等訪問の受け入れ、日程調整がしやすい。	日頃からのお子様の情報のやりとりを丁寧に行うように心がけている。	保育所等訪問支援を継続して行えるように、実施計画を立てた上で、スケジュール調整を行う。
2	訪問を複数で行っている。	複数で訪問を行うことで、様々な視点からの助言を行えるようにしている。	訪問者同士連携を密に図り、情報共有を行っていく。訪問者から事業所職員への共有を必ず行う。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の困り感について、ご家庭・園・事業所それぞれの様子の情報収集が足りているか。	それぞれの困り感、意向などをしっかりとアセスメントし、訪問時の着眼点を明確にしていく。	お子様の発達の変化に対応できるよう、定期的なモニタリングとアセスメントを行う以外にも、ご家族や園との繋がりをより強固にしていく。
2	専門職との日程調整の円滑さ。	保育所等訪問支援を利用するご意向を把握し、各専門職との連携を密にとっておく。	園・事業所・専門職のスケジュール調整を円滑に行い、スムーズな訪問へと繋げていく。
3	訪問後の助言について、限られた時間の中での確に伝えられるか。	園の方針や保育方法の妨げにならないかなど配慮した上での助言・アドバイスをやっていく。	専門職からの視点として、ポイントを絞って分かりやすいようにお伝えしていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 もぜ

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 2

回収数 2

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	1			1		お子様に合わせた教材を整えて参ります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1			1		面接室は個室となっております。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					丁寧な説明を心掛けております。ご質問等ございましたらお声掛けください。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					ご希望に合わせた頻度、日曜を設定させて頂きます。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2					お子様の状況を把握させて頂き、適切に対応して参ります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					今後も職員の質向上に努めて参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					計画作成について、ご家族としっかり情報共有させて頂きたいと思えます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					訪問先担当の方からもご意向を伺い、計画作成して参ります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					計画に沿った支援を心掛けております。
保護者への 説明等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					訪問先の方針や、流れを確認させて頂き、支障のないよう訪問させて頂きまます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					契約時の説明を行っておりますが、不明点がございましたらお問合せ頂ければと思えます。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					計画書をもとに支援内容の説明を行うようにしております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2					ご家族向けの研修等、今後検討して参ります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					お子様の状況について、共通理解ができるよう努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					定期的な面談を設定しておりますが、随時面談の機会を設けますので、いつでもお声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					ご家族の思いに寄り添えるような支援に努めて参ります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					相談等ございましたら、いつでもお声掛け下さい。迅速に対応して参ります。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	2					お子様、ご家族の思いを汲み取り、必要な情報伝達ができるようにしていきます。
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					訪問先からの相談等へ迅速に対応して参ります。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					訪問後は、担当の方と話し合いの場を設けております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3					ご家族への共有は、タイムリーに、丁寧に行えるようにして参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		保育所等訪問に関する発信が少ない為、今後増やせるよう検討して参ります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1			1		今後も個人情報取り扱いに関しては十分留意して参ります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2					訪問先との連携を図り、緊急時の対応ができるようにして参ります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					安全計画に基づき、安全確保された支援を行って参ります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2					お子様にとって負担とならないよう配慮した訪問を行って参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	2					ご家族やご本人が安心して保育所等訪問支援をご利用頂けるよう、訪問先と連携を図り、よりよい支援に努めて参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 2月 27日

もぜ

利用児童数

2名

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1	1		訪問支援や活動の話をする事が少ない。	訪問時に丁寧に話出来るよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1		園の話をし、事業所内でも話してみますと持ち帰った後の話が聞けないことが多い。	必要事項を共有していけるようにして参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1	1		訪問支援での専門士の話をもう少し聞かせてほしい。	面談時の丁寧な回答に努めます。また、いつでもお問い合わせ頂ければと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			道具の使い方に成長が見られ困り感が減ってきている。	お子様の困りごとに合わせた支援実施に努めて参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			個別活動の時間が増えたことはとてもよかったですと思う。	今後とも定期的に訪問させて頂き、お子様にとってよりよい支援を目指して参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>保育所等訪問支援を終えて、専門士や保育士の方の見解がもう少し詳しく聞きたいと思う。専門士に対してはこのような場面が見られたのでこのような対応をしてみてもどうか？など分析を伝えてくれたらと感じた。専門士から見た保育所での困りごとやその原因を、専門士ならではの分析も知りたいと思う。保育所等訪問支援がうまく情報共有できたらと思う。</p>					<p>ご意見ありがとうございます。保育所等訪問支援を実施するにあたり、専門職との連携を図るとともに、支援内容の丁寧な説明を行って参ります。また保育園さんとの統一した支援へと繋がるよう情報共有を行って参ります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		もぜ		公表日		令和7年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○			お子様に合わせた教材の準備を行い、支援に活かして参ります。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			適切な人数配置で訪問させて頂いております。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			業務改善を図れる様、職員間で振り返りを行って参ります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者様から頂いたご意見をもとに、必要な改善を行って参ります。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職員との面談により意見を集約している。全体への周知を行い、よりよい支援へと努める。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在外部評価を行っておりませんが、今後検討して参ります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			毎月の療育研究会や、外部研修へ参加しております。職員が平等に学ぶ機会を設けられるよう配慮して参ります。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		丁寧なアセスメントを行い、ご家族、ご本人のニーズを把握し、計画作成を行っております。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			職員間で共通理解のもと、計画作成を行って参ります。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			訪問先の担当者様と丁寧な情報共有を行い、訪問先のご意向も伺って参ります。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			職員間で共有し、計画に沿って進めらるよう随時確認して参ります。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			お子様の状況把握について、ツールを用いつつ、観察を丁寧に行うことで、より細かな把握に努めて参ります。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			職員間で共有し、計画に沿って進めらるよう随時確認して参ります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			訪問する職員間で、お子様の状況把握、事前打ち合わせを行い連携に努めて参ります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援を振り返り、意見交換を行うことで、その後の支援に活かして参ります。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			訪問先の情報をお聞きし、保育方針や流れの妨げにならない様に配慮しながら訪問を行って参ります。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			記録をとり職員間での共有することで、よりよい訪問へと繋げて参ります。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			ご家族、訪問先のご意向を定期的にお伺いできるよう努めて参ります。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			関係する職員が参加しております。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			随時必要機関と連携を取る体制を整えて参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			必要な情報が小学校に伝わるよう、連絡会の開催など行い、相互理解に努めて参ります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			法人内研修、外部研修等へも積極的に参加することで職員の質向上に努めて参ります。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			自立支援協議会の子ども部会には法人代表で出席しております。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			ご家族がお子様のことを話しやすい環境作りに努めて参ります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○		ご家族向けの研修等の機会を今後も検討し発信して参ります。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明を行っております。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			訪問前に丁寧に事業の趣旨、目的について説明させて頂いております。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			作成前にご家族の状況やご意向を伺っております。定期的なアセスメントだけでなく、必要時には随時面談の機会を設けて参ります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			面談にて計画についての説明を行い、ご家族の同意を得ております。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			ご家族の思いに寄り添った支援、助言を行えるように努めて参ります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			事業所としては行っておりますが、保育所等訪問支援ご利用の方対象では実施出来ていない為、検討して参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			ご家族からの相談等、随時受け付ける体制ですが、その周知が不足している為、発信とともに必要時は迅速に対応していく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			事業所でのSNS活用は増えつつある為、今後も活用して参ります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報取り扱いについては、十分留意しております。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			今後必要に応じて対応して参ります。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			訪問日以外のやりとりも行えるよう周知し、必要な情報共有や助言に努めて参ります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			訪問先担当の方と、カンファレンスを行っております。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			実施後面談にて報告させて頂いております。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報取り扱いについては、十分留意しております。

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			信頼関係を築きながら、丁寧な助言を行って参ります。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			ご家族への周知方法を検討して参ります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しております。	研修、訓練が定着し、安全に支援を行えるよう努めて参ります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを事業所内で共有しております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を開催や、法人内研修にて研修実施しております。	適切な対応ができるように、今後も研修を重ねて参ります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいませんが、今後必要な場合は、組織で決定された流れに沿って実施して参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デーサービス 楽々		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日		2025年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	落ち着ける空間がある事で学校で嫌な事があったなど、気持ちを落ち着かせることができます。	無理に活動に参加させるのではなく、本人のしたい事やゆっくりした気持ち優先する。また活動も状況に応じ個別での対応を行う。	ソファやクッションなど横になれる場所の環境を整える
2	子ども達が安心感を感じながら、楽しく通所できている(児童・保護者の満足度が高い)	日々変化していく子ども達をチームで支援することにより、安定した支援が出来るように、活動プログラムを工夫しています	より子ども達に必要な支援が出来るよう、一人一人の発達に合った活動プログラム等を考えていきたいと思います。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	事業所として、地域の子どもに対する活動との接点を作れていない。	職員が地域の子ども対象事業と接点を作っていく。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。きょうだいへの支援が十分にされていない。	家族会は開催しているが、ご家族の交流を持てるイベントを行っていない。 きょうだいへの支援を何を行うか明確に理解できていない。	保護者様同士の交流が持てるイベントの企画立案を行い、開催していく。 きょうだい支援で何が出来るか考え取り組む。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス 楽々

公表日 2025年2月27日

利用児童数 32名

回収数 15世帯

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2				活動内容に応じて場所を替え、十分に楽しめるように工夫しています。また、空欄をうまく利用して課題に集中できる環境づくりにも努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	1			職員は基準を満たして配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				清掃は毎日行っています。お子様の降園後、館内の清掃・消毒は行っております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		1		お子様一人一人の特性、発達段階を把握しお子様に合わせた支援に努めております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			2		事業所支援プログラムやお子様のニーズに応じた支援内容を心掛けております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		お子様、保護者様のニーズをしっかりと把握し計画を作成しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1		移行支援では、保護者様に同意を頂き、学校との連絡会を通してお子様の情報共有に努めております。また家族支援では、必要に応じて面談などの実施を行っております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1		1		放課後等デイサービス計画に沿ってお子様の支援に日々、努めております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	2	3		現在、地域との交流ができていないので今後、他事業所、地域との交流を考えております。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			2		契約書、重要事項説明書などの書類を確認頂きながら説明しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			2		放課後等デイサービス計画を保護者様に確認頂きながら、お子様の支援内容についてお話しさせて頂いております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14			1		申し送りの際、連絡帳を通して、お子様の様子についてお話しさせて頂いております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1		1		定期的に面談を実施しております。保護者様からご相談があれば、すぐに対応いたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				お子様の成長を共に喜び、保護者様のお悩みなど親身になってお話しさせて頂いております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7				今年度ご家族様の懇親会も実施しております。今後、ご家族参加のイベントも考えております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1	意見箱の設置や何か困りごとがあった際にはいつでもお声掛け頂くようお伝えしております。また、相談があった際には、すぐに日程の調整を行い、面談を実施しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1		1	申し送りの際など一人一人しっかりと時間をとらせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1	個人情報の取り扱いには十分配慮しており、保護者様からも個人情報の取り扱いについての同意書を頂いています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1	マニュアルを作成し、災害発生時のマニュアルに関しては、保護者様に紙面を配布しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2		1	危険予測を行いながら、環境設定や見守り・支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から遅やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		1	怪我や体調不良など、すぐに保護者様にご連絡をし、お子様の様子や怪我の状況についてお話しさせて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				お子様方が通園を楽しみにしていることを知り、ありがたく思います。今後もお子様が楽しく通園できるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			1	あまり通えていない 皆さまのお声を支援に活かせるように事業所職員で話し合い、支援の質向上を目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス 楽々		2025年2月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	○			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回、療育研究会をおこなっています。外部研修も定期的に受講しています。	
適切 な 支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムをホームページにて公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		事業所職員全員でモニタリング、アセスメントを行い計画作成をしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画案の作成後、事業所の全職員で内容の確認をしています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画作成をしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で活動プログラムを考えています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			発達年齢に応じた活動プログラムの内容の充実化を図りたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○				
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に1度、地震・火事・風水害の訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に聞き取りを行っております。服薬など変更がある場合には、保護者様からご連絡を頂き、職員と情報共有を図っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットの提出数が少なくなってきているので、小さい所にも気づける感覚を持っていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待・身体拘束についての会議を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			